

まあ、よんでみて!

第29号

発行日2018年12月

障がい者スポーツへの関心

～東京パラリンピック2020に向けて～



発行：（公社）大阪府理学療法士会 障害者保健福祉部

〒540-0028 大阪府中央区常盤町1-4-12-301 TEL 06-6942-7233

E-mail: disabled@physiotherapist-osk.or.jp

印刷所：身体障がい者支援施設 大阪ワークセンター

〒594-0031 和泉市伏屋町5-10-11 TEL 0725-57-0883

まあ、よんでみて！

障がい者スポーツ関連の資格紹介

第125次国際オリンピック委員会（IOC）総会にて、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されることが決定しました。多くの国民が待ち望んだオリンピック・パラリンピック。1964年以来、56年ぶりにあの感動が、また日本にやってきます。

オリンピックは2020年7月24日（金）～8月9日（日）の日程で、パラリンピックは2020年8月25日（火）～9月6日（日）の日程で開催されます。

日本理学療法士協会では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会組織委員会（以下、組織委員会）より正式な依頼を受け、選手村内診療所などで活動する理学療法サービススタッフの人材募集を支援することとなりました。すでに、この活動への参加希望者に対する公募は始まっています。

それでは、スポーツ・障がい者スポーツに興味のある理学療法士はどのくらいいるのでしょうか？

「東京オリンピック・パラリンピック」に関するアンケート

2018年04月 JPTA NEWS No. 312より

Q. あなたは「東京オリンピック・パラリンピック」に興味がありますか？

⇒ 「Yes」 91.4%

Q. あなたは日常的に「スポーツ・障がい者スポーツ」に関わっていますか？

⇒ 「No」 75% 理由「どこでしているのかわからない。」など

この結果からも、スポーツ・障がい者スポーツに興味がある理学療法士が多いなか、その関わり方がわからないなどの理由で、実際は関わっていない方が多いのが現状です。

今回は、障がい者スポーツに関わるきっかけとして、『公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会公認資格』についてご紹介します。資格取得の為の講習会を受講することで、障がい者スポーツを知り、体験もできます。また資格者にはボランティア情報の入手や参加ができたりします。皆さんも、資格の取得や様々な障がい者スポーツにボランティア参加をして、障がい者スポーツに関わってみてはいかがでしょうか。



《公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 指導者養成制度概要》

本協会では、公認指導者制度を制定し、わが国における障がい者のスポーツの普及と発展をめざし、障がい者のスポーツ環境を構築する上で必要な人材の養成並びに資質向上を図るための研修事業を行なっています。

《各資格 障がい者スポーツ指導員》

①初級障がい者スポーツ指導員

地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。

【受講資格】

受講年度の4月1日現在で18歳以上の者。

②中級障がい者スポーツ指導員

地域における障がい者スポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で十分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者。

【受講資格】

初級障がい者スポーツ指導員資格を取得して、2年以上経過している者で、かつ80時間以上の活動経験を有する者。又は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員資格（スポーツリーダーを除く）を取得し、初期登録から3年以上の指導経験を有する者。そして、日本理学療法士協会に登録されている理学療法士も指導経験の有無に関わらず、受講可能。

③上級障がい者スポーツ指導員

県レベルのリーダーとして、指導現場では障がい者スポーツの高度な専門的知識を有し、指導技術と豊富な経緯に基づいた指導と指導員を取りまとめる指導的立場になる者。

【受講資格】

中級障がい者スポーツ指導員資格を取得して、3年以上経過している者で、かつ120時間以上の活動経験を有する者。



まあ、よんでみて！

④障がい者スポーツコーチ

各種競技別の障がいのある競技者の強化・育成などを行う者。

【受講資格】

上級又は中級障がい者スポーツ指導員資格を有し、当協会加盟競技団体から推薦された者。

⑤障がい者スポーツ医

障がい者のスポーツ・レクリエーション活動に必要な医学的管理および指導などの医学的支援を行う者。

【受講資格】

日本の医師国家資格を有し、5年以上経過した者。

⑥障がい者スポーツトレーナー

障がい者のスポーツ活動に必要な安全管理および競技力の維持・向上の支援をする者。

【受講資格】

↓下記 (1)、(2)のいずれかに該当する者。

- (1) 日本スポーツ協会公認アスレティック・トレーナーの資格を有している者。
- (2) 当協会加盟競技団体等で活動している者で、当該加盟競技団体から推薦された理学療法士、作業療法士等の国家資格を有する者。

日本障がい者スポーツ協会ホームページより引用

資格取得を通じて障がい者スポーツを学び、自ら体験することで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックがさらに楽しくなるのではないのでしょうか。



第18回 大阪府障がい者スポーツ大会 ボランティアスタッフインタビュー

JCHO星ヶ丘医療センター 岡田 紗也花 先生

—— 大阪府障がい者スポーツ大会にボランティアスタッフとして参加しようと思った理由は何ですか？

理学療法士として働く以前からスポーツ現場には興味があり、働いてからは障がい者スポーツにとっても関心があったため、今回の募集を見てすぐに参加しようと思いました。また、普段は病院の急性期病棟で勤務しており術後の入院患者に関わることがほとんどで、スポーツの現場に実際に関わる機会はないため、普段からスポーツに関連する活動には積極的に参加したいと考えています。

—— 実際に参加してみた感想をお聞かせください。

私は障がい者卓球の出場選手のサポートスタッフとして参加させていただきました。理学療法士としてスポーツ現場でのサポートを行うのは今回が初めての経験でした。活動としては主に、大会出場選手の試合前後でのコンディショニングや動作指導等を行いました。選手一人当たりに対応できる時間が短く限られた中で、選手の要望や現在の状況等を聴取し即座に対応することの難しさを実感しました。普段の勤務では急性期の整形外科術後患者を中心にみているため、関わるということがほとんどない脊髄損傷や脳卒中後片麻痺を既往に持つ選手への対応には慣れずに緊張しましたが、とても良い経験になりました。また、試合前にコンディショニングを受けた選手が、試合後に報告に来てくれたときにはとてもやりがいを感じる事ができました。しかし、まだまだ理学療法士としての経験は浅いため、これからさらに学び、こういったスポーツの現場でできることを増やしたいと思います。機会があれば、次回もぜひ参加させていただきたいです。

—— 当日の活動に対するご意見をお聞かせください。

どんな競技に関わる際も、そのスポーツのルールや特性をある程度は知っておくことで適切な治療や指導ができると思います。今回の大会はどちらかというと民間向けで幅広い方々が参加していたため、その都度臨機応変に様々なことに対応しなければならなかったという印象でした。そのため、予想していたよりも卓球という競技の特性を知った上でのアプローチをする機会は少なかったのかなと思います。しかし、今回参加しなければなかなか関わる機会がないであろう障がい者卓球について調べる機会を得ることができ、さらに試合を実際に見ることができたことはとても良い経験になりました。次回参加した際には、ぜひ他の競技にも関わってみたいですね。

まあ、よんでみて！

第18回 大阪府障がい者スポーツ大会 選手インタビュー 車いす卓球 田岡 勉 選手

—— 車いす卓球を始めたきっかけを教えてください。

車いすマラソンでちよくちよく会う友達に、卓球ちょっと相手してって言われてしたのがきっかけです。中学生の時に卓球部だったので、そこそこラリーはできました。

—— なぜ車いすに乗車するようになりましたか。

(差し支えなければ)

トラックの積み荷の下敷きになって第二腰椎を骨折しました。



卓球競技会場

—— 車いす卓球以外のスポーツや、社会参加は何かされていますか？

広く浅くできることはやってますが、車いすハンドボール・車いすテニス・陸上競技（投擲・マラソンなど）をやっています。最近は卓球と陸上を教えたりしています。

—— お仕事や社会参加する上で、障害となることはありますか？

特に感じませんが、理解のある人がサポートしてくれるので助かります。

—— 理学療法士によるリハビリテーションの経験や、現在の身体ケアについて教えてください？



コンディショニングルームの様子

病院のリハビリには制度が変わってから通えませんが、昔から見ている先生が色々な経過を見てくれています。整骨院でも治療後にストレッチをしてくれたりします。

—— 理学療法士に求めることはありますか？

自分の場合はケガをした時に一番最初に毎日かかる先生がOT・PTの先生だったので、病院に居るときにもっと障がい者スポーツのことや体の仕組みを教えてもらえたらよかったと思います。

体の仕組みや筋肉の事を教えてくれた、知り合いのOT・PTの先生には今も凄く感謝しています。ある先生は、人間は無意識のうちにバランスを取りながら歩いている。と、そのことを体に根気よく覚えさせてくれたりしました。

そのおかげで、今の自分の体の事が理解できたので、社会復帰がすんなりできたような気がします。

同じくくりの障害であっても、個人差がかなりあるので、このぐらいはできるはずとの思い込みで指導されると、やる気が十分に出てこない。得意・不得意があるのを理解したうえで、「得意⇒面白い⇒継続」これがきっかけになる気がします。

今までも整骨院の先生 2人に車いすハンドボール・車いすバスケットを体験してもらい、テニスのインストラクターの人と車いすテニスをし、チェアワークの難しさを実感してもらったりしました。皆さん一度経験してから、障がい者スポーツに関心を持ってくれました。ちょっと質問内容と違うかも知れませんが、時間の空いてる先生がいれば、陸上の練習や卓球の練習やテニスなどに参加して、障がい者スポーツを体験していただけると患者さんに教える事が増えると思います。



コンディショニング後の様子 (左) 田岡 勉 選手
(右) 岡田 紗也花 先生

まあ、よんでみて！

障がい者スポーツには、色々な種目がありますが気軽に参加できるものから、競技性を求められるものまで多岐にわたります。

興味のある方は、関連施設のホームページを覗いてみてください。

障がい者スポーツ関連施設

◆ 大阪府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）

<http://www.fineplaza.jp>

〒590-0137 大阪府堺市南区域山台5丁1番2号

TEL : 072-296-6311 / FAX : 072-296-6313

◆ 大阪府立稲スポーツセンター

<http://www.sfj-osaka.net/12ina/>

〒562-0015 大阪府箕面市稲6丁目15番26号

TEL : 072-728-4822 / FAX : 072-728-4876

◆ 大阪市長居障がい者スポーツセンター

<http://www.fukspo.org/nagaissc/>

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区长居公園1-32

TEL : 06-6697-8681 / FAX : 06-6697-8613

◆ 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

<http://www.fukspo.org/maishimassc>

〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津二丁目1番46号

TEL : 06-6465-8200 / FAX : 06-6465-8207

編集委員：井上拓弥、植田良、木村公英、朽木友佳子、河野竜也、小森武陸、須藤由佳、高尾弘志、

高森宣行、西之原隆宏、東山学史、藤野文崇、前田薫、増田勇樹、山川雅史（50音順）